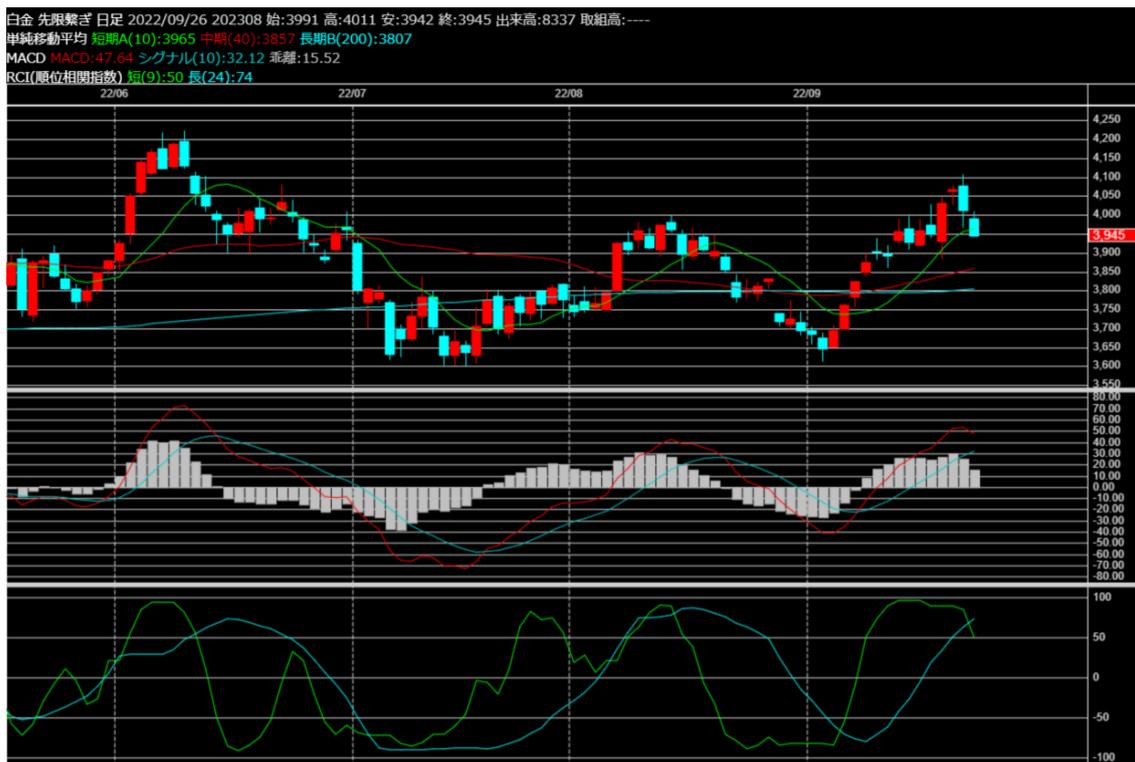


<白金標準先物、29日のGDP・確報値まで下値追い・・・>



(出所：オアシス)

南アフリカの国営電力会社エスコムの全電力喪失リスクが高まりを見せた18日以降、2008年以来の危機的な状況に NY 白金は 943.5 ドルまで高値を試した事から、白金標準先物も 4109 円まで上昇を示している。しかしメンテナンス中の14基の発電タービンを再開し、ステージ6の負荷制限がステージ4まで引き下げた事でリスクが低下している。

また週末に英国の5年間で25兆5000億円規模の経済対策と1972年以来の大型減税を発表した事から、大規模な英国の政府債務が管理不能な状態に陥るとの不安を背景に逃避の債券売りが加速し、軒並み金利が上昇するなどドル回帰の動きを強めた結果、NY 白金は 852 ドルまで下落し、祝日取引が始まった白金標準先物も 3838 円まで下落するなど高値から 271 円の下落を行なっている。

特にロシアがウクライナ4州で行っているロシア編入を問う住民投票開始で、戦術核のリスクが表面化し欧州市場の地政学的なリスクの高まりも白金価格を押し下げるなど、目先下値追いの展開が予想され、次なる要因である29日に発表される第2四半期GDP・確報値まで3700円台に向けた値動きに注意した方が無難と思える。

<テクニカル>

白金標準先物の日足をMACDとRCIで見た場合は、MACDではMACDが下げながら、シグナルは上昇が止まるなど、弱気のクロスが発生する直前であり、RCIでは短期が下げながら長期も上昇が止まるなど、弱気のクロスは発生している。そのため200日移動平均線が位置する3800円へ向けた下値追いの値動きに注意したい。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,594,000 円(2022 年 9 月 26 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 36,080 円(2022 年 9 月 26 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>